

沖繩タイムス著作物使用許可書

津波デジタルライブラリ作成委員会 殿

那覇市おもろまち1-3-31

沖繩タイムスメディアシステム本部

本部長 城間辰彦

2005年10月27日に申請された著作物の使用について下記の事項を順守する条件で許可致します。

使用目的

記事29点 [1960年5月24日から1960年9月30日までの記事（別途参照）] を「津波デジタルライブラリ」作成の為の資料・転載

2005年10月27日

記

1. 著作物は申請した目的以外には一切使用しないこと（利用は1申請に対して1回限り）
2. 刊行物等に転載する場合は、「沖繩タイムス社提供」を明記し、当該刊行物を1部寄贈すること
3. 「沖繩タイムス社著作物使用契約事項」を順守すること
4. 契約事項に違反した場合、使用取り消し、損害賠償などの請求に一切異議を申し立てない
5. 使用料金の支払いは、許可書発行日より10日以内に指定の口座に振り込んで下さい。

メディア部

098-860-3559

〒900-8678 那覇市おもろまち1-3-31

別途参照

1. けさ各地に津波 (1960/05/24)
2. チリ津波のつめ跡 (1960/05/25)
3. 災害地救援に予備費流用 (1960/05/25/朝/2 面)
4. 屋我地島にまた離島苦 (1960/05/25)
5. 開校できぬ眞喜屋校 (1960/05/25/夕)
6. チリ、また空前の大地震 (1960/05/26/夕/1 面)
7. 久志も陸の孤島 (1960/05/26)
8. 津波の不安一應去る (1960/05/26/夕)
9. 大浦橋 29 日に開通 (1960/05/27/夕/2 面)
10. 津波におびえた二時間半 (1960/05/27/朝/7 面)
11. 基本施設だけで 102 万ドル (1960/05/27)
12. チリ津波に被害 北部 (1960/05/27)
13. 災害復旧に立ち上がる 屋我地村 (1960/05/28)
14. 被災地に救援の手 (1960/05/28)
15. 生活保護法で援助 (1960/05/31)
16. 津波に流された養鶏 (1960/05/31/夕/3 面)
17. まず農協の立て直し (1960/06/01)
18. 救助法は打ち切られたが 津波被災地に行く (1960/06/03/夕)
19. 津波でどん底生活に (1960/06/10)
20. 名物綱引きも取りやめ (1960/06/14)
21. 美しい協同精神 (1960/07/17/夕)
22. 津波被害のお見舞い (1960/07/20)
23. 津波被災の眞喜屋小校移転 (1960/08/01)
24. 近く資金の貸し付け (1960/08/10)
25. 新しい校地の地ならし (1960/08/27)
26. おらが村羽地村稲嶺 (1960/09/16)
27. 立ち上がる伊計島 (1960/09/21/朝/6 面)
28. 屋我地島民待望の架橋 (1960/09/27)
29. 沖縄への影響 (1960/05/28) チリ地震冬中続くか (1960/05/29/朝/3 面)
津波警報の共同研究 (1960/07/17)

* 29 番は、記事が小さいため、1 枚にコピーしました。